

要求仕様書

背景

当大学の一般の人に対しての知名度の低さが深刻であると本学学生が感じている。だが、本学の広報活動の現状を本学学生が活動内容を知らない。さらに、広報活動に対する興味や意識が薄いといった問題がある。

課題

学生が本学の広報活動を知り、積極的に広報活動の手助けが出来ることにある。

目標

大学と学生が協力して本学の広報活動に取り組む姿勢にする。大学と学生が協力体制で行い、高校生などへのニーズに沿った広報活動をする。結果として、高校生や一般の人が本学の興味を持ってくれる事にある。

プロジェクトの説明

概要

本学の広報活動における学生の協力を計る
当プロジェクトは本学における広報活動において広報課と学生との協力が円滑に行えるようにする為の組織を成す。

機能

具体的な活動の協力体制

- ・ オープンキャンパス時の広報活動の取り締まり
キャンパスツアーは現状、本学学生が行っているが各学生により説明する内容が一致していない。よって、参加者が混乱をする可能性がある。
- ・ 本学広報活動に対しての学生の意識向上

本学学生が一般へ向けて、本学の広報活動を学生視点で広める。その際に、口コミなどを用いて広める。

- 本学の広報活動を学生視点で切る

本学学生が広報課の行う広報活動に対して意見を伝える。伝えるのに際してアンケートなどを行い、一般性を持たせた意見を伝える。

今後の展望

本学の広報活動において広報課と学生の協力が成せるような組織を設立し運営していく。活動としては先に述べた通りである。